

0. 自己紹介

この度は第2690地区奨学生として留学をさせていただき誠にありがとうございます。初回の報告となりますので簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は岡山市生まれで高校卒業まで岡山で過ごし、大学進学のため上京しました。中学生の頃から一貫して株式投資、特に企業経営と資本市場の関係に関心を持っており、大学では会社法や金融商品取引法について学びました。卒業後は証券業界に入り、2014年～留学前までは独立系の資産運用会社でアナリストとして日本の上場企業の調査を担当していました。

留学の動機は3つあります。1つ目は(金融風に言えば)人生のボラティリティをもう一度高めることです。8年ほど働いて、触れる情報も人付き合いもやや収束気味だったので、次の10年に向けて発散させたいと思いました。2つ目は経営のフルポテンシャルを理解することです。日本でトップと言われる企業でもグローバルの競合には様々な指標で見劣りしているのが現状です。世界のスタンダードを理解したいと思いました。3つ目は多様性を理解できるようになることです。世の中を見ているとダイバーシティの流れは不可逆であるように思います。しかし日本にいと自分は教育にも仕事にも恵まれ、男性という立場もあり、中々マイノリティの立場で物事を考えることができません。異国の地で自分がマイノリティになる経験を通じて、より想像力を高めたいと思いました。

卒業後は同じ投資調査の仕事より高いレベルでしたいと考えていますが、中長期的には地方経済と関わることに興味があり、特に地元岡山に恩返しができるような仕事をしたいと考えています。妻も高校の同窓で、既に地元を出て10年以上が経ちましたが、愛着を持ち続けています。そのような思いもあり、地元への貢献と世界市民としての貢献を共に追求していらっしゃるロータリーのプログラムに応募させていただきました。

1. 学業面での成果

本題に入る前にコロナの影響ですが、日本で懸念していたよりも充実した生活ができているというのが実感です。ニューヨークは春頃に一度非常に深刻な事態を経験しているのでマスクの着用率や距離の確保も厳格で、飲食店や公共施設の消毒も非常にマメに行われています。民主党支持者が多いという土地柄も影響しているようです。大学も常に無料でPCR検査を受けられる環境を整えており、構内に入るにはスマホのアプリでログを取り、万一感染者が出た場合には速やかに共有される仕組みになっています。そのためニューヨーク全体の感染者数は増加傾向ですが大学周辺は落ち着いており、週に1~2回は対面の授業が受けられる状態です。その他飲食店での懇親会やホームパーティーも節度を守って行っています。

さて本題ですが、学業とそれに付随するソーシャルな活動のそれぞれに取り組むことができました。

授業としては入学後半年間は会計やマーケティングなどの必修科目が大半を占めるのですが、私の場合は前職での経験もあったため会計や財務など3単位分は試験を受けて免除して貰い、初めから選択科目を履修することができました。特に”The Art of Forecasting”という授業ではこれまで関わったことがなかった債券投資家の視点から企業の財務情報を分析する手法を学ぶことができました。

クラスは70人で1クラス(全8クラス)が編成されるのですが、今年は同学年に10数人の日本人が入学したにも関わらず私は日本人1人のクラスでした。このことは当初不安もありましたが、日本の視点を共有できるのは自分しかいないという思いで、日本に関係する話題が出たときには積極的に発言するようにしています。ただケーススタディで韓国のサムスンが扱われたのに日本企業は1社も扱われないなど、経済面でのプレゼンスの低さにはショックも受けました。

一方、文化や食については日本への関心が高いことに驚きました。ラーメンや焼き鳥を食べに行くイベントを企画するとすぐに参加申し込みが殺到しますし、妻の力を借りて自宅で手巻き寿司パーティーを開いたときも大変人気でした。

授業を通じて感じるのはやはりテクノロジー産業への関心の高さです。経営戦略、ミクロ経済、統計、マーケティング、どの授業でもGoogleやAppleなどの企業の事例が登場します。しっかりと分析をすると非常にロジカルに事業を行っていることがよく分かりましたし、そうした事業活動をアカデミックに考察し、知識として抽象化していく取り組みも活発であると感じました。これまでの仕事では製造業や一般のサービス業などを分析することが多かったので、テクノロジーについても知見を深められればと考えています。

リーダーシップとしてはクラスでイベントを企画するソーシャルチェアになりました。コロナで活動の制約は多いですが、屋外での飲食やピクニックなどの企画を行いました。またJBA(Japan Business Association)という日本人学生の組織ではプロフェッショナルイベント係に就き、前職でのネットワークも使ってアシックス

の米国法人社長と楽天の米国若手マネジャーを招き、それぞれ 50 人規模のオンラインイベントを開催しました。

2. 受入地区でのロータリーとの関わり、奉仕活動、カウンセラーとの交流

残念ながらコロナの影響もありまだ受入地区の担当者と連絡が取れておらず、活動に参加することができていません。過去の奨学生レポートを読むと皆さん現地のロータリーと様々な交流をしていらっしゃるのので、再度別のルートも含めてコンタクトを試みたいと思いました。

3. 直面した課題、問題点等

生活面では渡米後すぐに詐欺の電話に騙されそうになってひやりとすることがありました。アメリカの携帯電話番号は使い回しが激しいようで、日常的に間違い電話や詐欺の電話が掛かってきます。しかし入国して間もない私は「米国ソーシャルセキュリティナンバー事務局」を名乗る担当者が、「あなたのパスポートの情報が流出している」と語るのを信じて、30分ほど電話でやり取りしてしまいました。その過程で、「あなたの銀行口座も漏れるかもしれないから私たちが保護する」「キャッシュカードの情報を教えて欲しい」などと言われて、さすがにおかしいと思い、寮の守衛さんに相談したところよくある詐欺の手口だと分かりました。身近に相談できる現地の人がいて良かったと思う瞬間でもありました。

食生活でも外食が高い、魚介類が入手しにくいなどの点に当初困りました。日本だとランチは安いとワンコイン（500円）、1,000円も出せばおいしい定食が食べられますが、ニューヨークのカフェでランチをするとチップ込みで30ドル（≒3,000円）くらいかかります。夜は単価も上がりお酒も入るので、60～80ドルが相場です。日本が長らくデフレであったことを痛感しました。また、個人的に食事は肉よりも魚の方が好きなのですが、種類が少なく生臭いことが多いです。そのため酒や生姜を使って臭みを抜く方法や、塩鯖をしめ鯖にして食べる方法を調べるなど、工夫して好きなものを食べられるようにしています。

4. 今後の課題、目標

学業でもソーシャルでも、より積極的に動いて、与えられている資源を有効に活用したいと考えています。

例えば学業では毎週教授がオフィスアワーを設けており、その他 TA(Teaching Assisntat) という上級生で気軽に質問できる人たちもいるのですが、英語で応用的なことが聞けるのかやや躊躇いがあり機会を活用していませんでした。しかし来学期からはより自分の専門とする分野の授業も増えるので、ぜひ積極的により発展的な学習ができるように努めてみたいと考えています。

このことはソーシャルにおいても同じです。コロナの影響でキャンパス等で偶然に会う機会は減っているので、これまで以上に自分から積極的に連絡を取り、関係を築いていく必要があります。上級生、オンラインのゲストスピーカー、大学の就職支援サービスなど、門戸を開けてくださっている方々が多いので、来学期はより多くの人に連絡を取りたいと思います。現地ロータリーとの交流についても同様なので、進捗をご報告できるようにしたいと思います。

以上

写真1：ブルックリン橋周辺の散策

週末にクラスメイトに声を掛け、ブルックリン橋周辺を散策しました。留学生比率が40数%と高く、米国人でもニューヨークに住むのは初めてという人たちも多いので、観光地が多いニューヨークは遊びに行く場所が豊富にあります。



写真2：焼き鳥店の屋外席で懇親会

11月半ばまでの温かい時期には屋外でよく懇親会を開きました。写真はクラスメイトを焼き鳥店に連れて行ったときの様子です。20人近く集まりました。



写真3：自宅に友人を招いてサンクスギビング

現在屋内での飲食は10名以下に制限されていますが、その範囲でのホームパーティーはしばしば行っています。サンクスギビングのときにはそれぞれに料理を持ち寄りました。私はパエリアを作りました。



写真4：日本人でゴルフ

屋外のアクティビティとしてゴルフの人気の高まっているようです。私は日本で2年ほど経験があるだけですが、こちらは車（Uber）で30分ほどで行けて、スルーで時間効率も良く、プレイフィーも60ドル程度と安いので、ぜひ練習したいと思っています。



写真5：車を借りて小旅行

休暇中には車を借りて妻とバーモントやニューハンプシャーに行きました。旅行には制約が多いですが、自家用車であれば安全に移動することができます。左ハンドル・右車線にも随分慣れました。

